

ふじがわ

町のメモ

昭和62年5月1日現在	
人口	16,925人
増減	+25人
男	8,354人
女	8,571人
世帯数	4,421世帯
面積	31.09km ²

5月号 昭和62年5月11日発行 No.310

富士川町 総務課



町のことしの目標
「健康な心とからだに住みよい町に」

おもな内容

- 2～3ページ 新議会スタート、5月1日の臨時議会の内容
- 4～5 「まちの広場」 新区長さん決まる 町民ハイキング盛大に
- 6～7 広報モニター 富士川探索
- 8 木島地区雑おくり、歳時記
- 9 無事故記録伸ばそう(二小)
- 10 戸籍の窓、一里塚、俳句会

富士川町民憲章

1. わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって 郷土のためにつくしましょう。
1. わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで 豊かな町にいたしましょう。
1. わたくしたちは、教養を高め、情操を深めて 明るい家庭をきずきましょう。
1. わたくしたちは、奉仕につとめ、力をあわせて 住みよい社会をつくりましょう。
1. わたくしたちは、創造と努力によって 町の未来をひらきましょう。

坪内伸浩議長 白井由夫副議長 を中心に 新議会スタート

町議会の臨時議会が、5月1日(金)午前9時から議場で開催されました。
今回の臨時議会は改選後初めてとあって、まず、議会を構成する正副議長、常任・特別・その他の委員会等の人事を行い、その後、監査委員を選任し、昭和61年度一般会計補正予算ほか二件の専決案件を原案どおり可決しました。

議会を構成する正・副議長、常任委員会、特別委員会、任意委員会、一部事務組合議会議員各種委員会などの委員は、次のとおりです。(敬称略)

正・副議長

議長 坪内伸浩
副議長 白井由夫

常任委員会

◎総務常任委員会
庶務、統計、選挙、消防、教育、財務、税務及び他の委員会の所管に属さない事務を行う委員会です。
委員長 渡辺一光
副委員長 渡辺 勉
委員 白井由夫 渡辺幸一 齊藤己未郎 市川忠良

◎建設常任委員会
土木、都市計画、住宅建築及び産業経済に関する事務を行う委員会です。
委員長 渡辺一光
副委員長 渡辺 勉
委員 白井由夫 渡辺幸一 齊藤己未郎 市川忠良

◎国民健康保険運営協議会
小林正衛 白井由夫 植松 茂 佐野 晃
◎町営住宅入居者選考委員会
渡辺一光 小林政広 佐藤富男 渡辺 勉 滝 利雄 佐野 晃
◎町立児童館運営委員会
小林正衛
◎学校給食センター運営委員会
渡辺一光

特別委員会

◎山砂利対策特別委員会
町内の山間地に埋蔵する広大な山砂利利用の開発に関して、科学調査を重点的に行ってきた委員会。現在は、採取の要請に基づき基礎調査や協議を行っています。
委員長 齊藤昌巳
副委員長 小林政広
委員 渡辺浩章 渡辺幸一 佐野安彦 齊藤己未郎 佐野 晃 佐藤富男

任意委員会

◎議会運営委員会
議会の運営を円滑に進めていくため、各委員会の調整機能を發揮する委員会です。
委員長 白井由夫
副委員長 滝 利雄
委員 渡辺一光 渡辺 勉 渡辺浩章 小林正衛 風岡 肇 坪内伸浩

一部事務組合議会

◎共立蒲原総合病院組合議会
議員 坪内伸浩 白井由夫 小永井一雄 齊藤昌巳 小林正衛
◎庵原地区消防組合議会
議員 坪内伸浩 渡辺幸一 佐野安彦 佐野 晃
◎庵原郡環境衛生組合議会
議員 坪内伸浩 齊藤己未郎 渡辺浩章 佐藤富男
◎県道富士宮由比線・市町道富士川由比線道路組合議会
議員 坪内伸浩 渡辺 勉 小林政広 風岡 肇

◎富士川身延線対策特別委員会
住民の健康を考え、通行する車輛の渋滞緩和をはかることを目的に、身延線バイパスの早期建設をめざし対応していく委員会です。
委員長 滝 利雄
副委員長 佐野 晃
委員 渡辺 勉 白井由夫 齊藤昌巳 小林政広 市川忠良 植松 茂

◎議会広報編集委員会
みなさんに議会活動をくまなく知ってもらうために、議会広報「芙蓉」を年4回編集し、発行する委員会です。
委員長 齊藤昌巳
副委員長 渡辺幸一
委員 坪内伸浩 齊藤己未郎 佐野安彦 渡辺一光



臨時議会で審議する議員のみなさん

- ◎富士川町地域地下水利用対策協議会
坪内伸浩 齊藤己未郎 渡辺一光 滝 利雄 渡辺浩章 齊藤昌巳
- ◎富士川右岸地域地下水利用対策協議会
坪内伸浩 齊藤昌巳
- ◎富士川用水対策委員会
坪内伸浩 市川忠良 小林政広
- ◎表彰審査委員会
坪内伸浩 白井由夫 渡辺一光 渡辺浩章 小林正衛
- ◎町有財産管理委員会
渡辺一光
- ◎静清庵地区広域市町村圏協議会
坪内伸浩 渡辺一光
- ◎静清庵畑地かんがい基盤総合整備促進協力会
坪内伸浩 渡辺浩章
- ◎ひまわり学園運営連絡協議会
坪内伸浩 小林正衛 風岡 肇
- ◎(社)社会福祉協議会
坪内伸浩 小林正衛
- ◎農業委員会(52・7・18まで)
渡辺浩章 白井由夫
- ◎青少年問題対策協議会
坪内伸浩 渡辺一光 小林正衛

その他

◎正副議長関係会議
郡町議会議長会、郡行政連絡会、県地方議会連絡協議会



坪内伸浩氏 (46) (本通四)

議長就任あいさつ

富士川町議会議長 坪内伸浩

このたびの統一地方選挙における町議会議員選挙で町民のみなさんのご理解のもと、再度議席を得、議会活動に専念すべき新たな決意をいたしました。
去る五月一日開催された臨時議会において、議員全員の推薦をいただき、議長職を務めることになりました。
推薦をしてくれた全議員の付託に十分応えるよう自己反省をし、学んだ経験から引き出せる力を最大限に發揮できるように努力してまいります。

私たち議員は、町民のみなさんの代表であることを深く認識し、みなさんの意志を十分反映しつつ、議会機能を發揮し、職責を果たすと同時に町当局と力をあわせて町施策遂行のため邁進したいとおもいます。
町民みなさんの絶大なご支援、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。
議長就任のあいさつといたします。

町の監査委員に 小永井一雄氏



小永井一雄氏 (68) (本通三)

今回の臨時議会で、議員の中から選任する町の監査委員に、小永井一雄氏が選ばれました。
この結果、専門知識・経験の花田宗司氏(舟山町)と、今後毎月行われる例月現金出納検査、毎年一回定期的に行う定期監査などを行い、町の財政が健全に運営されているかどうかを調査する重要な役割を果たしていきます。



新区長さん
今年もよろしく

住民のみなさんと町行政とのパイプ役として、これから一年間区民の要望や苦情を、町や議会に積極的に働きかけ、いわゆる住民参加による住みよい町づくりにより重要な役割を果たす、三十二区の昭和62年度区長さんが決まり、4月15日午後1時30分から、役場議場で初めての区長会が開かれました。

会長には、三浦松寿さんが選ばれ、その後、町からお願いする事業について説明を受けました。

区長さん、区長会役員のみなさんは、次のとおりです。

各区々長

(敬称略)

- 木 島 佐藤 吉巳
- 小 山 常盤 理一
- 室 野 谷津倉尚志
- 相生町 佐野恵太郎
- 上 町 望月 一郎

- 舟山町 齊藤 勝
- 坂 下 太田 彰一
- 旭 町 望月 保
- 堺 町 渡辺 睦章
- 新 町 望月 正彦
- 新町本町 齊藤十郎右衛門
- 四十九町 浦田 益男
- 宮 町 関 健二
- 小 池 齊藤 肇
- 大楽窪 土橋 孝
- 本通一区 川端 寿八
- 本通二区 遠藤 勇
- 本通三丁目 若月 晃
- 本町四丁目 荻野 晴男
- 幸 町 望月 敏雄
- 東町一 滝 建夫
- 東町二 三浦 松寿
- 日の出町 花田 文雄
- 南町一 錦織 源造
- 南町二 錦織 徳雄
- 富士見町 望月 武
- かぎあな 望月 寿
- 八幡町 山口 輝男
- 富士松野 青柳 正
- 清水町 稲葉 広
- 大北町 望月 隆
- 俣下町 小川 信男

区長会役員

- 会 長 三浦松寿 (東町二)
- 副会長 浦田益男 (新町本町)
- 理 事 錦織源造 (南町一)
- 谷津倉尚志 (室野)
- 望月一郎 (上町)
- 関 健二 (四十九町)
- 遠藤 勇 (本通二区)
- 山口輝男 (八幡町)
- 小川信男 (俣下町)
- 監 事 齊藤 勝 (舟山町)

新町区担当

新生児・児童委員に
池内秀夫さん

町民生委員推薦会(委員長常葉雅文、委員14名)が、4月9日に役場小会議室で開催されました。

若月忠雄委員の辞任にともなう後任者を決めるもので、池内秀夫(63)さんを新町区担当の民生児童委員に推薦しました。

早速、県に進達され、正式の厚生大臣の委嘱をうける予定です。

るなど、幅広い奉仕活動がおもな職務です。

お気づきですか

木島地先の三角塔

みなさん、お気づきでしょうか。この度、県道富士川身延線木島地先に、三角塔が設置されました。これは、高さ6メートル、幅90センチメートルの三角塔で、交通安全スローガン、町の今年の目標を周知するため、町で設置したものです。

設置にあたっては、三角塔の三面の視認性及び、交通環境等が考慮され、木島地先の交差点が建設場所となったものです。



木島地区の三角塔

で住みよい町に

一、交通安全シンボルマークと「忘れずに締めて走ろう心とベルト」

一、町の鳥と「ゆずりあう心が無事故の第一歩」のスローガン等が記載されています。

富士川町では、この数年交通事故件数は、ほぼ横ばい状態ですが、一件でも交通事故を減らすよう、一人ひとりが注意し、交通安全に努めましょう。

県議選結果

芦川清司氏が当選

今回の統一地方選挙における県議会議員選挙は、庵原郡内で定員一名のところ二人の立候補者によって四月十二日投票が行なわれた結果、当町の芦川清司氏が見事当選されました。

◆庵原郡内の結果

芦川清司(無所属)一六、二九一票
原しげる(無所属)一〇、四二四票

◆富士川町の結果

芦川清司(無所属)八、一三〇票
原しげる(無所属)一、九五四票
有権者総数 一一、九二二人
投票者総数 一〇、二〇七人
投票率 八五・六九%

総会での会員のみなさん



富士川町人材センター

「シルバー富士川」発足

高齢化社会対策の一環として昨年からの準備が進められていた「シルバー富士川」の創立総会が4月15日、町老人福祉センターで開かれました。

定年退職後等で、一般的な雇用は希望しないが、町内で補助的かつ短期的な就業を通じて、自分の能力や知識・経験を生かし、地域及び町の活性化発展のために社会参加したいと望む高年齢者が多くなり、人材センターの発足となりました。

仕事は、ペンキ塗り・庭木手入れ・家事手伝い・簡単な大工仕事などの軽作業で、すでに第一次会員募集に三十二人が入会を済ましています。

総会では、三十二人の会員の紹介の後、理事長に天野茂氏、副理事長に川村清氏、常任理事に池内秀夫氏が選任されたほか、運営要綱、就労規約が承認されました。事務所は、町老人福祉センター内に置かれ、五月一日から稼働します。

役員のみなさんは、次のとおりです。(敬称略)

- 理事長 天野 茂 (南町二)
- 副理事長 川村 清 (相生町)
- 常任理事 池内秀夫 (新町)
- 久松としゑ (堺町)
- 鎌田春子 (旭町)
- 渡辺慎一 (本通四)
- 高岡太郎 (俣下町)
- 井上恒雄 (川坂)
- 野沢義雄 (宮町)
- 影島寿雄 (南町一)
- 顧問 田中又吉 (本通三)
- 秀村敏朗 (俣下町)
- 参与 齊藤 博 (民生課長)

第一幼稚園で
親子交通安全教室

町立第一幼稚園(望月君子園長、園児百二十三人)は、4月17日全園児と親を対象に交通安全



正しく道路を渡る園児たち

全教室を開きました。

この教室は、親が交通ルールをしっかりと理解し、子供にも交通安全の手法を示せるように行なわれたもので、最初にお母さんたちが、蒲原署婦人交通指導員に、横断歩道での車の止め方などを学んだ後、園児といっしょに「かならず止まって右、左、右」と大きな声で確認し、道路の渡り方などを教えてもらい、園児たちはお母さんに手を引かれ、同園前の県道に出て実地練習をしました。

横断歩道の前に来ると園児たちは、右手を高く上げ、元気な声で左右を確認し、道路を渡り、正しい交通ルールを体験しました。

町民ハイキングが盛大に
探検コースに歓喜



頂上に着き笑顔が

絶好のハイキング日和の4月19日、子供連れの家族など約三百人が参加し「第二十回町民ハイキング」が、雨乞山(室野)探索コースで行なわれました。

前回までは、野田山を主体としたコースでしたが、二十回記念行事として趣向を変えて、郷里の自然をより広く認識してもらう意味から、富士川町の伝説の地、室野地域の雨乞山を尋ねました。

第二小学校、松千代保育園、木島公会堂、吉津公園、第一小学校の五ヶ所に各自集合した参加者は、松野・木島・富士川の三コースから、午前8時40分に



みんな元気に登ります

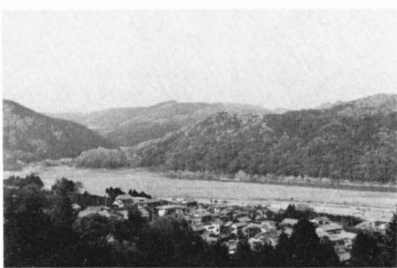
(敬称略)



室野とわたし

宮沢美登里さん(室野)

私が室野に来て早いもので五年になります。周囲の自然と澄んだ空気がすっきり私の中に融け込んだ様な気がします。一日ごとに山の様相が柔ら



山の新緑と清流富士川

な緑につつまれていくこの頃、都会から多くの人が山に入ってくるのを見るにつけ、去年あの山道に咲いていたキンランは今も無事花をつけているだろうか、心ない人に根こそぎぬかれたりしていないだろうかなどと心配になることがあります。

家の二匹の甲斐犬と共に、ブラツと農免道路に散歩に出ることがあります。益々高く聳える富士の峰と眼下を流れる富士川が暮れなすむ頃、隣の富士市の夜影がちりばめられた金砂子の様な光となつてくるのを見ながら、ゆつくりゆつくり歩を進めていくと、いつしか空と地上の境がなくなつてしまつた様に気がしてきます。揺蕩としたこの時の流れを、私はいつも大事に



富士川堤の松並木

したいと思う。原始や古代の人が自然にひそみつつ聞いた、風の音や川の流るを、その未裔である自分に、生きているあかしとして蘇らせてみたいから。

富士川堤をゆく

近藤育子さん(堺町)

春、穏やかな日差しの中、思い立って富士川べりをのんびりと歩いてみました。

新幹線鉄橋下より土手に上がり、中央公民館に向かつて一本道。遠く若葉を抱いた岩本山を背景に何本もの橋が重なり、富士山も裾野まで霞んで川向こうには水神の森が浮き島の様に見えます。時たま通る車、ゴーツ

と走り去る新幹線や電車のほかは音もなく、ただ草はらで餌取りに忙がしそうなヒバリのさえずりだけが耳をくすぐります。昔、この辺りは船運で活気のある渡船場であつたろうなどと思ひ浮かべながら松並木に近づくと、二十本余りの短い並木道ではあつても川風に耐え、力強く立つ様は、富士川の歴史をじつと見守つてきた威厳さを感じさせてくれます。

タイムトンネルをくぐつてきた先は、公民館の歌碑公園。近代的ながら大松と富士にマッチしてしつかりとした趣があります。この地に越して来た時感動した豊かな自然と歴史の重みを、再び私の心に呼び戻してくれた一日でした。

旧東海道から

野田山ハイキングコース

青木道子さん(堺町)

例年より遅れ気味の春の陽差しの中、訪れてみたいと思つていた近くの名所を歩いてみた。

まず、慈林寺に向い、町の古木に指定されている榎を見ながら四十九町へと向う。入口で野田山不動明王と薬師如来の石碑を見ながら、段々と登りになり



ひっそりたたずむ實相院

ミカン畑が切れる頃、道の左手に薬師如来堂が見える。毎年四月に花祭りが地元の人達により行われるそうです。

息を切らしながら道を急くと右手には、四十九野田山ハイキングコース入口に建つ實相院にたどり着く。實相院縁起によれば大正時代高野山より秘かに下山した僧がこの地を開いたのが始まりとの事である。野田山ハイキングコースとしては家族連れに最適で有り、ここからの眺めは近くに東名、富士川の流れ、対岸の富士市街又駿河湾の海の色、晴れた日には伊豆の山並みが見渡され、気持ち爽快になる。私も富士川町で四年を平安に過ごし、回りの事も遠見逃がし

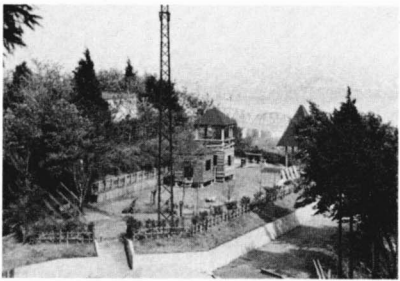
がちであったが、故郷の北海道と比べ歴史の古き、又風景の違い等を感じた一日だった。

岩淵名所めぐり

渡辺三枝子さん(相生町)

ポカポカと暖かい季節になると、山には桜の花が咲き、小鳥のさえずる声が聞こえ、道通う家の庭にはチューリップやパンジー、白いこてまりが風にたなびいて咲いています。

家から新豊院の山門を潜り、境内を通り抜け裏山へ出るとアスレチックや遊具があり、天望塔から見る町の眺めはすばらしいものです。役場下の県道には、榎の木を植え、旅人の道程目標となる一里塚があります。江戸



第1公園シンボルタワーからの眺望

そこから富士川サービスエリアまで歩いて満開の桜を見た時、軽く汗ばんだ体に4月の風が心地良く感じられた。

お不動さんからはたご池

深沢ひろ子さん(清水町)

前日の雨も上がった土曜日の昼すぎ、家族で荒川不動さんから、はたご池まで山道を歩いてみました。

秀村医院から由比に向つて二キロ程の所にお不動さんがあります。お不動さんのお堂へは、県道からいきなり階段を登らなくてはならないのですが、真白で新しい手すりが付いていたので、張切つて登ってみました。お堂の奥には、不動の滝と呼ばれる小さな滝があります。あま



有無瀬川の水きに建つ不動尊

小車の里

深沢のり子さん(南町二)

春、一年中で一番生命の躍動が感じられる季節。

日曜日、暖い日差しに誘われて、久しぶりに散歩に出かけた。馬込川の土手を歩いてみると、(確かこの辺にネコヤナギがあつたはず。触れると暖く、銀色に光つていたつけ)とネコヤナギに感動した遠い日が、懐しく蘇ってきた。今では昔の面影は無いが、それでも山路の花がひっそり咲いているのを見つけ



車の車轍のような小車の石

た時は、嬉しかった。家から五分足らずで小車の石に着く。松野は古来「おぐるまの里」と言われる所以の石とか。現在は石材採取の為一部を残すのみだが、その昔は旧松野村役場から、恰も車の轍のような形に見えたそう。江戸時代の風

た時は、嬉しかった。家から五分足らずで小車の石に着く。松野は古来「おぐるまの里」と言われる所以の石とか。現在は石材採取の為一部を残すのみだが、その昔は旧松野村役場から、恰も車の轍のような形に見えたそう。江戸時代の風

流人たちから持て来され、多くの詩や俳句に詠れたというこの小車石が松野のシンボルとしてその全形が残されていたなら、どんなに良かったらうと残念でならない。小車石を過ぎ、中野台へ、ここには「おぐるまの道」と名付けられた遊歩道があり、富士川を眼下にジョギングして汗を流したら最高でしょうね。

投稿者へお願い

みなさん、こんな広報にしたらというご意見やご要望を聞かせてください。

◎テーマ

◎字数

400字づつ原稿用紙一枚以内
◎締切日 5月20日(木)

◎投稿先・問合せ先

富士川町役場総務課

岩淵2番地

住所・氏名・年齢を記載して下さい。

お雛様に感謝 木島地区婦人会で 雛おくり

木島地区婦人会（佐藤妙子支部長他四名の役員）は、娘を思う親の願いを託したお雛様に感謝をこめて、4月18日円通寺山口住職の立合のもと、親子五十人が見守る中、木島河川敷で雛おくりを行いました。



お雛様ともこれでお別れ

平安の昔、人々は紙で人形を作り川へ流して厄を払い、無事を祈るという信仰を持っていました。やがて高貴な婦人は布で型を作るようになり、それが次第に民衆に広がり、様々な工夫が凝らされ、いつしか民衆の憧れである宮中の即位の姿を七段飾りの中で再現し、今日のように



説明する梅島堅一氏(左)

な人形の姿となっています。女の子の赤ちゃんが誕生し、幼児になりお雛様といっしょに遊び、だんだん成長し、娘になりやがて親元を離れ嫁いでいく。両親は娘の行末に幸多からん事を祈り雛人形を飾ります。人が何らかの仕事をし、生活を営み、様々な人生を送るようになり、雛人形もまた一人ひとり異なる顔貌を持ち、役目を持ち、娘を思う親の願いを一心に浴びてきました。優雅で詩情豊かなお雛様は世界中どこへ行っても見られません。

いる富士川町本通りの梅島堅一氏が4月7日から12日まで、清水市民文化会館で個展を開きました。梅島氏は、清水市出身で富士山に魅せられ、四季おりおりの色や姿を三十数年間撮ってきました。

「富士を撮る」梅島堅一展
富士山の美しさを撮り続けて

なぜ富士山を撮るのかという質問に、梅島氏は、「失敗した時に怒る人がいないし、いくら撮ってもこの山は二度と同じ顔を見せてくれない。そして富士山は、ふるさとのお山だから」と答えられました。

五月五日はこどもの日。そして、しょうぶの節句。ところで、このしょうぶ、実はささいな仲間とは意外に「共存しないようです」。

しょうぶ



「いづれあやめか、かきつばた」と言われるように、この仲間は見わけが難しい。でも、あやめか、かきつばた、花しょうぶは、いづれもあやめ科なのです。が、しょうぶはささいな科で、まったく違った植物です。

あやめ科の仲間、大きく華麗な花を咲かすのに対して、しょうぶは黄色の穂のような地味な花です。

や茎を切って酒に入れることもあり、また、銚子にしょうぶを挿すこともあったようです。

家族で話し合おう 図解交通安全

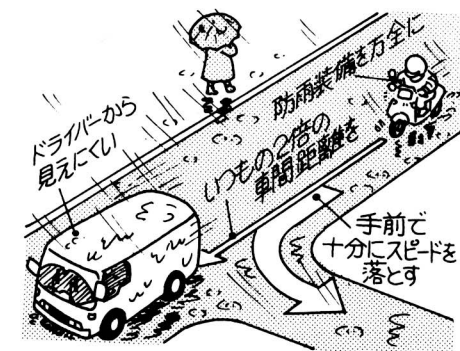
バイク編 状況の変化を知ろう

雨の日の走行②

走り慣れた道でも、晴れた日と雨の日ではかなり状況が違ってきます。雨の日にバイクを運転するとき、とくに次の点に注意してください。

- ①車間距離は十分にとる
雨の日は、いつものように短い距離では止まれません。急ブレーキを踏まなくてすむようにしてください。
- ②カーブ手前では十分にスピードを落とす
いくら走り慣れたカーブでも晴れた日と同じスピードでコー

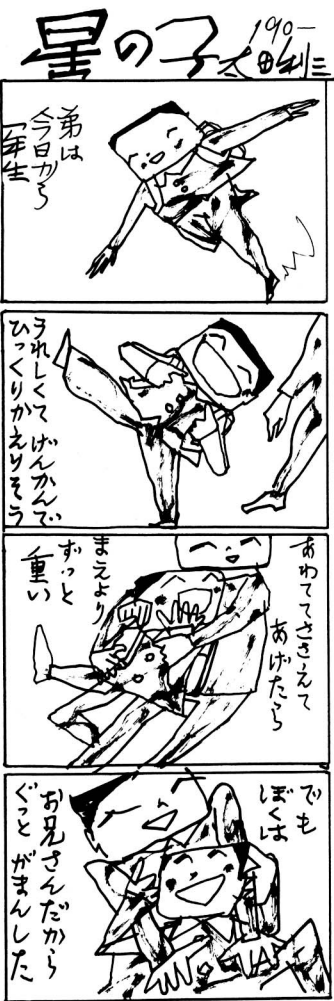
ナーリングするの危険です。控え目なスピードで曲がるようにしましょう。



4月の交通事故

人身事故	8件(5)	合計	16件(10)
物損事故	8件(5)		
富士川身延線	3件(3)		
国道一号线	6件(2)		
町道	6件(5)		
県道	1件(0)		
その他	0件(0)		

()は昨年



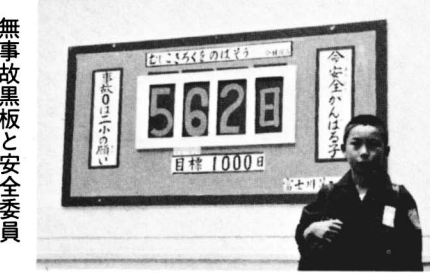
無事故記録伸ばそう 二小で交通安全教室

町立富士川第二小学校（鈴木修一校長、児童五百八十一人）は、4月14日「交通安全教室」を開きました。

これは、十四日現在で同校が続けている連続交通事故ゼロ五百五十四日をさらに伸ばそうとの目的で、朝七時から登校時間に、交通安全協会富士川分会員（望月初男分会長、同校PTA、蒲原署婦人交通指導員、教師が街頭で交通指導にあたり、各学級で交通安全についての話し合いが持たれた後、新一年生が清水町の交差点で横断についての実施教室を行いました。

同校は、60年10月6日に児童が軽傷交通事故に遭って以来、次のような方法で無事故運動に取り組んでいます。

一、集団登下校の際、高学年の児童が低学年の児童のめんどうをよく見る。
二、教師・PTA・安全協会など、地域ぐるみで街頭指導に当たっている。
三、児童会の「安全部」（細矢慎二郎部長）が正門前に



無事故黒板と安全委員

戸籍の窓

S 62・3・15より4・14届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者	続柄
旭町	齋藤雅人	正利	長男
宮町	松本怜征	哲司	長男
東町一	惣野代ひかる	隆	長女

かなしみ

区名	氏名	年齢
東町二	早房美帆	弘之 長女
東町二	大村 愛	裕一 二女
八幡町	森隣太郎	佑司 長男

一里塚



春夏秋冬、来ては去り、去つては再び巡ってくる四季の繰り返しを一番感ずるのは今頃のようないふがする。寒い冬籠りから抜け出し、命の芽吹く春の訪れを願う気持ち、生きる者の共通の願いであろう。

冬は、人の世のつらい、きびしい時の、春は、楽しく、幸せな時の代名詞によく使われる。ただ、冬は冬で終らず、その後必ず春が訪れるのである。木々の芽もふくらみを増し、土手にへばりついていた『イカリ草』も、除々に立ち上がり始

め、可憐な白い小さな花をつけ始めた春、

私にとって長年住み慣れた学校教育の現場を離れることは寂しいことであつたが、これも何かの縁。JR東海ではないけれど、「ゼロからの出発」の気持ちで、『スカベンジャーフィッシュ』(いつも水底にいて、熱帯魚が落ちこぼしたエサを食べ、水漕を清潔に保つようしている魚のこと)の心意気で、町民の方々のお役に立つことを考えていきたい。

失敗もあるだろう。失言もあるだろう、不愉快なことも出るだろう。合うことがあるだろう。しかし、常に心に春を抱き、明るさを基本に楽しくなるように頑張りたい

お母さんの

知恵袋

石けんの移り香

このごろ外国製の石けんが、ずいぶん出廻っていて、贈物にいただくこともよくあります。この石けんは、日本の石けんと違い、とても匂いが強いのです。そして、その匂いは香水のように甘つたるくなく、どちらかというと、清潔な香りがしますしそのまま使ってしまうのも、惜しいような形のものもありました。そんな時、包装をはがして、薄紙に包み直し、ハンカチや、下着のしまつてある引き出しや、箱の中に入れておきます。引き出しを、あけるたびに、さわやかですし、ほんのり移り香がしてくれます。その他トイレに置く事を、おすすめます。最近水洗面式の家が増えております、匂いもあり気にならなくなりました。今迄使っていた防臭剤の切れた時等、石けんを置いてみて下さい、違った香りがして快いものです。袋に入れて、つるしてもよく、トイレの隅に造花等へておいてもよく、一度おためし下さい。(婦人会)

文協俳句会



- 東町二 望月 喜子
- ことごとと豆煮えてをり花菜雨
- 南町一 望月美奈子
- 茶畑の梅の一樹にやすらげり
- 八幡町 西森千鶴江
- 裏山になご立ちのほり梅の寺
- 富士見町 清水 淑子
- 堰に来て水のたゆたう花筏
- 富士見町 錦識 好江
- 反芻に倦みて牛鳴く春の牧
- 大北町 川崎 麻子
- 国鉄の名の消ゆる日よ花の冷
- 舟山町 植松かつ子
- 箒目に白梅散るや寺の朝
- 八幡町 鈴木りつ子
- 枝先きのふくらみ柔し日脚のぶ
- 上町 齊藤つね子
- 花吹雪一期一会の肩に降る
- 清水町 白井滋賀子
- 同窓の旅のはじめの春の雪
- 堺町 伊藤す江の
- 自転車を曳いて泣く児よ花の冷
- 八幡町 白井十世子
- 澄すみつつ水の温みけり
- 富士見町 清水 寿枝
- 花冷えや病母の少なき髪を梳き
- 東町二 加藤 京子
- 押花の褪せてはらりと啄木忌

善意銀行へ寄託(敬称略)

S 62・3・5より4・2

- 手づくり品百一点 婦人会厚生部
- 十万円 安田善彦(東町二)
- 一万八千九百円 立正佼成会富士川支部
- 三万七千円 望月良吉(東町二)
- 二万円 渡辺松男(清水町)
- 社会福祉事業寄付金
- 十万円 蓮池佳成(大北町)
- 三万六千七百円 富士川町婦人会
- 三万円 岩淵製紙(株)互助会
- 十万円 故田中長治郎(上町)